



# 学校だより

横浜市立秋葉中学校

電話 811-6773 FAX 813-9438

## 壁をやぶる

校長 柿崎 順子

4月26日、ロンドンマラソンで1時間59分30秒というニュースが飛び込んできました。長く不可能と言われてきた「2時間の壁」がやぶられたのです。

この壁に最初のひびを入れたのは、2019年に行われた「人が最も速く走れるように人為的に条件を整えたレース」で記録された1時間59分40秒でした。

この挑戦は非公認ではありますが、「人間でも2時間を切れるはずだ」という確かな根拠を生みました。

今回優勝したセバスチャン・サウエ選手は「すべてのことは可能なのです。どれだけ準備をして、どれだけ集中できるか次第で、目標は達成できるのです」と語っています。

科学的根拠に基づく栄養管理やトレーニング(週平均200km走っていたそうです)、最新のシューズ、力を引き出し合えるライバルの存在など、さまざまな要素が積み重なってこそ成し得た記録でした。壁をやぶることは不可能ではないけれど、突然やぶれるものでもありません。

新年度がはじまって約一か月。

そろそろ何かしらの壁を感じ始めている人もいるかもしれません。

そんなときに大切なのは、「こうなりたい」「これを実現したい」という想いをもつことです。

想いは、壁に最初のひびを入れる力になります。

しかし、想いだけでは壁は動きません。必要なのは、あきらめずに続けることです。

うまくいかない日があっても、昨日より一歩だけ前に進む。その積み重ねが、やがて壁をやぶる力になります。

ただし、気持ちだけでは壁をやぶることはできません。想いを実現するための手段を考え、工夫し、努力を積み重ねることが必要です。

本校の、中期学校経営方針では、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力として、

「課題を見出し、解決しようとする力」  
「自己を振り返り、自己調整する力」  
「他者と対話し、相互理解を深める力」

を掲げています。

そのために…

「このままでいいの？」

→考える

→声に出す→声を聞く

→やってみる→振り返る

これらはまさに、壁をやぶるために必要な力そのものです。

課題を見つけることは、壁の存在に気づくこと

自己調整することは、壁をやぶるための手段を考え工夫すること

対話し理解を深めることは、仲間とともに壁を越える力をつくること

5月は各学年校外行事も実施されます。行事、授業、部活などさまざまな場面で、子どもたちが、自分の中の「想い」を大切に、あきらめず、手段を考え、工夫しながら、壁に立ち向かっていけるよう、学校としても丁寧に支えてまいります。ご家庭や地域でも、ぜひ子どもたちの挑戦を温かく応援していただければ幸いです。